

# 難病患者等福祉金6万円を1万円に

# 伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72 - 2465  
HP：jcp上伊那

## 市審議会当事者の意見も聞かずに決定

伊那市の医療政策審議会は、2回目の会合を7月14日開催し、諮問どおり難病患者等福祉金を年6万円から1万円に減額の答申案を決定してしまいました。

共産党の前澤啓子委員は、難病患者関係者の意見を踏まえ「難病は精神的負担が大きく看病のため働けないなどの経済的負担も大きい。国の制度は広く浅くなり、86%が負担増になる。対象が重症患者に限定される恐れもあり、今決める事は疑問。54億円もの伊那市の基金の状況からも、対象を住民税20万以下から非課税世帯に限定する必要は無い。家族の意見をよく聞き、額については再考すべき」と強く主張しました。

## 市議団で政策提言を

伊那市側は、「患者家族の意見を聞く事はせず、委員の意見

を集約して本日の委員会決定を」との意向で、結局賛成多数で付帯意見をつけて諮問案に賛成の答申となりました。付帯意見として、「専門的な職員によ

## 知事選の結果について

8月10日の知事選で、日本共産党も参加する「明るい県政をつくる県民の会」は、代表の野口しゅんぼつ候補を先頭にたたかい、善戦・健闘しました。

支持していただいた皆さまに心から感謝申し上げます。マスコミも「異例」と報じた自民主導の7党連合と正面から対決し、「県民の会」・野口候補の県政の実態を告発した訴えは、日増しに共感を広げました。

オール与党となった県政の下で「県民の会」と共産党の役割はますます重要になります。「子どもの医療費窓口無料化」「リニア新幹線見直し」など掲げた公約の実現めざし、引き続き取り組みを強めていく決意です。



2014年8月

日本共産党上伊那地区委員会

## 地 蜂

「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」広島平和公園の原爆慰霊碑に刻まれたこの碑文は、すべての人々が原爆犠牲者の冥福を祈り、戦争という過ちを再び繰り返さない事を誓い平和都市として再建することを祈念して設立された。今年の平和式典で広島市長は直接には発言しないが、安倍首相が進める集団的自衛権行使の閣議決定を批判し、式典後の安倍首相と被爆者団体との懇談では被爆者団体から首相に、集団的自衛権の閣議決定の撤回を迫った。多くの国民が反対する戦争への道、集団的自衛権容認・武器輸出・沖縄辺野古への新基地建設を安倍首相は独裁的な手段で進めている。恐ろしさを感じてならない。戦後69年、戦争を知らない世代が政治を進め戦争の愚かさ、恐ろしさが薄らいでしまった事もあろうかもしれない。私も戦争を知らずに育った一人ではあるけれど、戦争故にこの世に誕生したとも言える。我が一族からは三人が戦地に行き一人が戦死している。父はシベリアに抑留されたが兄弟で一人生きて帰る事が出来た。しかし、家では戦死した兄の妻が幼子抱えていた。その当時には珍しくはないだろうが弟直して兄嫁(母)と所帯を持ち私が誕生したのだ。戦争を知らない世代でも戦争は自分の中で生きていく。戦争では平和は決して築けない、安倍首相は戦争の恐ろしさ悪かきなど知らないだろう。国民の命を軽んじる安倍内閣を打倒し退陣させる事こそ、平和憲法9条を守り、戦後一人も人を殺し殺されなかった過去を未来まで引き継げる道なのだ。「過ちは繰り返しませんから」の碑の想いが続く様に。(HI)

# 「集団的自衛権行使容認」賛成？反対？

## 新婦人伊那支部が2回目の行動



大型店の前で、シール投票への協力を呼びかける支部員のみなさん

8月7日、Aコープ伊那中央店前で「集団的自衛権行使容認」に対しての2回目のシール投票行動を行いました。

今回も賛成は1人で、反対は71人と殆どの人が反対でした。平和系の飯島さんは「これからも継続し、世論を大きく広げていきたいです。次回は、9月18日を予定しています」と意気込みを語っていました。

## 「手良9条の会」総会開く

「手良9条の会」は、終戦記念日の月、8月24日夜、総会・講演会・懇親会を行いました。有線放送などで呼びかけたので会員外6名を含む20名が参加しました。

昨年6月以降の活動では「憲法9条を守ろう」の看板の書きかえ、新聞意見広告の取り組み等が報告され、今後は憲法9条を守る県民過半数署名などに取り組むことが確認されました。次に、宮下与兵衛氏（首都大学東京・特任教授）に「集団的自衛権と改憲 日本は戦争する

国になるのか」と題して話してもらいました。

参加者から「日本が今、平和か戦争か、民主主義か全体主義かの岐路に立たされていることがよくわかった」。安倍首相の独走・暴走はどこから来ているのか」などの話が出されました。

(高橋)



宮下与兵衛さん（正面奥）の話を聞く参加者のみなさん

# 黙っていたら平和が奪われる 平和のために行動した8月

## 第5回 平和音楽会開かる

8月10日、うたごえサークル“ざざむし”主催の平和音楽会が、「いなっせ」で行われました。

今年は5回目になり、内容も、ゴスペルあり、マリンバあり、モンゴルの民族音楽ありと多彩で、メインの「平和の旅へ」を含めて、より充実したものになりました。

毎回参加しているというEさんは、「いつも、感動するけれど、

## 「広島原爆の日」に平和のいのり 第28回伊那市民平和のつどい

「平和の塔」に献花する参加者



8月6日、「原爆の火」がともる山寺の丸山公園で「平和のいのり」が行われました。

参加者約40人が、原爆投下時刻の午前8時15分、市防災無線のサイレンに合わせて黙とうをささげて「平和の塔」に献花し

最後に参加者と「青い空は」を歌う合唱団のみなさん



この「平和の塔」は、市内に在っていた被爆者を中心に、1990年に建立されました。

原水禁広島大会に18人

2014年原水禁広島大会に青年ら中心に18人が参加してきました。募金のご協力ありがとうございました。近く、報告集会を予定しています。

上伊那原水協



# 土生田さん片桐建設に慰謝料請求

## スラップ(恫喝)訴訟

片桐建設が、同社が西春近細ヶ谷に建設した大規模太陽光発電施設が同地区住民の反対で計画を変更させられたとして、住民の土生田氏に総額6000万円の損害賠償を求めた訴訟が、今年2月、地裁伊那支部に提起され、8月20日に第3回公判がありました。

土生田さんは、「片桐建設が起こした裁判は、環境や雨水処理など住民の願いや意見を聞きいれず、裁判で威圧し、恫喝するもの」として、同社に200万円の慰謝料の支払いを求める裁判(本訴)に対する逆裁判)を8月4日に起しました。

土生田さんをはじめ、地区

### 広島の夏

### 前沢けい子

## 窓の市議

原爆投下から69年の今年、原水爆禁止世界大会・広島に行つて

を世界に示す為。1基5千億の原爆を売り込み、建設中の数年間に技術者を日本で訓練するためには再稼働がどうしても必要で電力需要の問題ではない。原爆利益共同体とは電力会社、東芝・三菱・日立の原爆メーカー、躯体工事を

「日本が原爆にしがみつくなは、原爆を動かす事で原料となるプルトニウムを保持し、日本が経済的にも技術的にも原爆を製造できる国である事

調達を引き受けるメガバンクで、安倍総理はこれらの利益のための営業課長」と鋭く指摘しました。

の住民らは「公正な裁判を求める要請署名」に取り組み、支援を呼びかけています。

次回裁判は10月15日午後2時。激励・連絡先は「恫喝裁判をかけた土生田勝正さんを支援する会」(9610224)です。

## 商工フェア賑わう

8月24日、上伊那民主商工会は、「第2回商工フェア」

これが私の生きる道」をいनाつせ北側広場などで開きました。いろいろの業種に關わつている青年部のメンバーの仕事のアピールし、商店街の活性化をめざして昨年から取り組まれたもの。

15種の体感コーナーやいろいろの出店もあつて、昨年にも増しての人出で賑わいました。



天気にも恵まれ、会場のいなっせにはたくさんの人が訪れました

## プロ&ぷろ

### 若者の投票行動に思うこと

建石繁明 14

私の知人に、選挙の投票には一回も行ったことがないという猛者がいます。理由を聞いてみると、立候補者に「俺の眼鏡に適う奴は誰もいない」と言います。御無理御尤もと同意したくなる面もあります。が?

民主主義という体制を維持するためには、自分の意思表示の機会として、投票によって立候補者の中から公職につく適任者を選び出すことは、必要不可欠の行為です。俺は決して投票には行かないぞと、決めてしまえば、候補者の政見を知る必要もありませんし、彼が何を考え、どんな行動をしようとしているのかも知る必要がなくなります。

このことは私が現在、現代病の最たるものとして名付けている「何事にも無関心」という病理に該当します。無関心病は、何事にも心をかけないこと、興味を持たないこと、その態度のことです。

どうして、こんな人々が多数生まれたのでしょうか? 無関心病の最大の指標は勿論、あらゆる選挙に於ける投票率の低さです。この病気が若者の間に蔓延している傾向が顕著なことです。その理由は、私の言う「教育の貧困」にあると思います。教育基本法の改悪も大問題ですが、憲法で私たちが、よりよく生きるために保証されている「基本的人権」をどのように学習しているのでしょうか。

考える力を養うどころか、若者たちから考える力を奪う日本の教育は最悪ですが、この病理を危機として確認しなければ、何事も始まらないと思います。

## 随想

鎮魂の夏

西箕輪 渡部 学

一九二七年生まれの私にとって、三歳から十八歳までは戦争の中の毎日でした。十五年戦争です。太平洋戦争末期には九州の端つこの町にも空からの攻撃が繰り返されました。

戦後の私の夏は、毎年六月二十二日沖縄慰霊の日が始まり八月十五日に終わる鎮魂の季節です。沖縄戦の終わりはやがて訪れる本土決戦の前ふれでもありました。そして、六日あとの六月二十九日、私の生まれ故郷である宮崎県延岡の大空襲慰霊の日がやってきます。私の最初の勤務先であった「国民学校」で、カナダ生まれの同僚の女性教師が焼夷弾の直撃を受けて犠牲になったこの日には、その学校で毎年慰霊祭と平和学習が行われ、今でも案内状が届きます。私には「本土決戦」という言葉と「いよいよ」という思いがいまでも鮮烈に甦って来る季節なのです。せめて沖縄であんな無謀な戦いをする前に決断すべき人が決断していたらと悔しさは今でも消えません。

この地に移って八十の手習いで始めた俳句と短歌で恥ずかしいのですが、毎年空襲と沖縄、原爆忌、敗戦忌を詠みます。

空襲に果てし友の碑炎暑来る  
長き戦後我にもありて原爆忌  
戦前を拒む声拳げん敗戦忌  
そしてガザです。

頭半分欠けたるわが子抱く

母の写真から目を背けてはならぬ

## 催し案内

## 日本共産党創立92周年記念レセプション

9月6日(土)午後3時~5時  
駒ヶ根駅前アルパ3階大会議室  
会費 1500円

主催 党上伊那地区委員会(72-2465)

## さわやかウォーキング

9月9日(火)9:50富県貝沼公民館集合  
主催 上伊那医療生協健康づくり委員会  
連絡先 組合員センター(79-8702)

## 映画「A2-B-C」(フクシマの子どもたち)

上映会 9月14日(日)午後1時半~  
中川村文化センター  
前売り券 1000円(高校生以下無料)  
主催 さよなら原発上伊那の会(79-8702)

## 県政報告会(共産党県議6人による)

9月27日(土)午後3時~  
箕輪町松島コミュニティセンター  
連絡先 党上伊那地区委員会(72-2465)

## 県高齢者大会 in 宮田

10月4日(土)10:15~  
宮田村村民会館大ホール  
昼食付参加費 1000円  
事務局・連絡先 上伊那医療生協(79-8702)

## 田楽座創立50周年記念作品

10月11・12日 県文会館大ホール

## 第37回赤旗信州秋まつり

10月12日(日) 松本市やまびこドーム

## 祭り

## 二十二夜様

(高遠町西高遠島畑)

写真中央の社には二十二夜様が祀られている。  
祭りの準備をしている地元のみなさん



天女橋の手前に二十二夜様と呼ばれる岩場があり、そこでは毎年8月17日(旧暦の7月22日)、月待ち信仰による願掛け行事(祭り)が行われます。安産祈願が行われたりもします。願掛けの際、願い事が叶えばそのお礼として二十二夜の月が上がるまで座ることなく立って待つことを約します。ここには、江戸時代の名石工、守屋貞治作の延命地藏尊もあり、「古き町」高遠が偲べれます。

## 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時~6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79-8702)